

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部	学 年	2年		
教科等名	体育	グループ名	学年		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにする。 ・基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにする。 ・簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動をしようとする。 				
担当教員	○中西 萌香 堀江 花歩 村野 祐奈 藤田 希 深野 美咲季 伊藤 杏子 町田 勉 高山 弥晏				
年間授業時数	70/175				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	手洗いをしよう 身体計測をしよう (保健)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいなど ・身体測定、保健室の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いやうがいの習慣を付ける。 ・身体測定に必要な態度を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やカードなどで活動の手順を事前に伝える。
4 5	走ったり、踊ったりしよう	○	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部体操、ラジオ体操 ・リズム運動、しろくま体操 ・直線走 ・表現(ダンス、パラバルーンなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本を見て、体操ができる。 ・音楽に合わせて姿勢や動きを変化させることができる。 ・姿勢の保持ができる。 ・ゴールに向かって走ることができる。 ・動きを覚えて表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・注目できるようにモニターに手本を映す。 ・ゴールに分かりやすい目印を提示する。 ・体得できるように繰り返し練習する。
6 7 9	サーキット運動をしよう		<ul style="list-style-type: none"> ・跳び越え、平均台、トンネルくぐりなど ・リズム運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートからゴールまで、器具に合わせて動きを変化させ、サーキット運動に取り組める。 ・ルールを守って運動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できる動きを組み合わせる。 ・ルールや気を付けることを、イラストや動画で示す。
	水に慣れよう (水泳)		<ul style="list-style-type: none"> ・体操 ・水の中を移動する運動遊び (輪になって歩く、走る、ジャンプ、エアロビクスなど) ・もぐる、浮く運動遊び (ワニ歩き、伏し浮き、バタ足、水中の玩具拾いなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールに入水できる。 ・水の中で支援を受けながら、指示された活動ができる。 ・身体を下げて、あご、口、鼻、顔を水につけることができる。 ・支援を受けながら水に浮くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水に慣れることができるように、スモールステップで活動内容を設定する。
9 10	体操選手になろう	○	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒、跳び箱 ・平均台 ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒にぶら下がったり、腕で支持して姿勢を保持したりできる。 ・跳び箱に跳び乗ったり、跳び越したりすることができる。 ・横転や「ゆりかご」の動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や写真で手本を示し、イメージをもたせる。 ・自分の動きを動画で確認する。 ・回数を重ねられるように、グルーピングを行う。
11 12	ボールで遊ぼう		<ul style="list-style-type: none"> ・ボール拾い、ボール投げ ・キャッチボール、ドリブル ・ボールキック ・ボールを使ったゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを拾って所定の場所に入れたり、的に向かってボールを投げたりできる。 ・相手に届くように投げたり、ボールを取ったりできる。 ・簡単なルールのあるゲームができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとなるような的やゴールを用意する。
1 2 3	陸上選手になろう		<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走、障害物走 ・直線走、変形走 ・長縄跳び 	<ul style="list-style-type: none"> ・低いハードルを跳び越えながら歩いたり、走ったりすることができる。 ・リズムよく跳んだり、縄を越えたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の大きさに合わせた器具を用意する。 ・一人一人に合わせて縄を回す速さを調節する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。